

2018Japan National Team Report ” サポーター”



報告者氏名	北原 まつ子
大会名	ワールド
開催地	キプロス共和国
大会期間	2018. 8. 27～9・6 プレ大会9・20～

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、JODA 海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA 理事会にて確認の後、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく客観的な立場から、詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手またヴァリアントの個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について

このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい

開催地域の様子	リゾート地であったので、ヨットクラブの周辺は、買い物、食事などに困ることはなかったです。 また、大会側の送迎バス以外の路線バスの利用や、タクシーなども利用できる環境でした。
宿泊場所	大会オフィシャルホテルのひとつ。 Navaria Hotel. 会場からは送迎バスで30分くらい。遠い方だったと思います。 ビジネスホテルクラス、冷蔵庫、ポットはなし。
大会のサポーターへの対応は	特になし
選手たちのコンディションいつもとどうでしたか？	プレ大会から入り、体の調子を整えることができました。 プレ大会中、3日目あたり疲れがみえていましたが、徐々に良いコンディションになっていったと思います。
サポーターとして気をつけたことは？	体調管理。 午前中風がないときは、陸はかなり暑かったので、日陰で過ごす、水分を取る、リラックスして過ごすなどを気を付けていました。
海外の選手を見て感じたことは？	小柄な選手が多くいるように感じました。
日本の選手を見て感じたことは？	全員が今回の走りに納得がいかず、もう一度やり直したいという気持ちを持ったようでした。 練習をもっとちゃんとやれば良かった、小学生まで遊んで練習したいとか。 今後の課題をたくさん持てたと思います。

Spare day の過ごし方は？	ホテルのプールで遊んだり、選手のリクエストで、路線バスに乗って、リマソルハーバーへ行きお土産を買ったり食事をしたりして、ゆっくりと過ごしました。
日本チームとしての課題はありましたか	プレ大会から参加して コンディションを整えられたのは、とてもよかったと思いました。 なかなか、日本の子供たちが実現できることではありませんが、時差のある国は行く場合は、とても有効だと感じました。
JODAへの要望	今回は、毎日の捕食として 炊飯器でご飯を炊き、毎朝子供たちが自分たちでおにぎりを作りました。6月にアジア選手権ジャカルタへ行かせてもらったカイトとショウコが海上用おにぎりの作り方を学んできたので、その作り方で全員で作ることができました。 子供たちに、とっても とても良い勉強になりました。 飯島コーチの1升炊きの炊飯器をお借りして行きました。 JODAで炊飯器が用意されていて、国旗などと一緒に貸し出しをしていただけたら、いいなと思いました。
その他	このような機会を与えていただき、心より感謝を申し上げます。 大変貴重な経験をさせていただきました。 コーチと共に、練習から本番大会まで、過ごすことができ、多くを学ばせていただいたと思います。 お忙しい中、数々のご手配をいただき、ありがとうございました。

ご協力ありがとうございました

JODA 海外派遣委員会